

□議員名：杉本 保喜

1 山陽小野田市防災計画について

論点	火災予防対策において予防要員、警防要員の任務と現状は。
回答	予防要員は署での予防査察や防火指導を、警防要員は消防隊、救助隊、救急隊が行う業務をする。その確保については宇部・山陽小野田消防組合で要員の確保を研究している。

論点	消防団員の確保策はどうか。
回答	27年度から出勤手当の増額等、団員の活性化を図っている。また、火災予防、防災訓練、指導等の普及啓発活動を実施する大学生の入団について協議中であり、29年秋に募集を開始、翌年4月に発足させる予定である。

論点	災害発生時の避難に関する発令伝達の呼称が変わったが、避難上の課題解決（避難所運営を含む）はどうか。
回答	今回の変更でより分かりやすくなった。今後関係団体等への周知徹底を進めていく。NHKの「d」ボタンで見ることのできる「河川水位」に有帆川を入れることは、現状を確認して情報が広く伝わるよう取り組む。また、介護施設等にアンケート調査を実施しているが、各事業所に対して、利用者の避難確保計画の策定をするよう促していく。

2 山陽小野田市東部再開発について

論点	小野田駅周辺の動きとして、東側周辺の再開発、子育て支援センター、市立保育所の再編、日の出市場の取壊し等の動きがあるが、その戦略プランは。
回答	都市再生整備計画に基づきインフラ整備として28年から五か年かけて進め、駅前全体として意見交換をやりながら進めていく。子育て支援センターは平成30年度開所予定で市内全域にPRしていき、保育所は住民説明会等で理解を得ながら進める。日の出市場は再整備計画上、代替地であるが方策の余地もある。

論点	小野田山陽線道路のくし山跨線橋付近改良工事の状況はどうか。
回答	跨線橋は、左右にそれぞれ2車線と広い歩道が設置され、南北の道路整備を含めて作業は早期に進められる。

論点	広域の接続点だけになっている状態の有帆地区を活性化する計画はどうか。
回答	<p>地域の住民活動や小学校運営での教育ネット事業が、非常に活発であり、ボランティアの参加が多いことも理解している。教育委員会としてもその支援をし、活性化に努力していく。また、児童の人口減少は、市内にとって最大の問題だと認識している。解決手法を誤らないように全体として検討する。</p> <p>小野田美東線の道路改良は、有帆川橋の改修を実施中だが、道路の改良拡幅工事の計画はない。</p>